

12月14日(土)「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回は、ゲストに「バルーンアーティスト」の、**濱田隆行さん**をお迎えして、**子どもが笑顔になるバルーンアート**活動について、お話ししていただき、それから、実際に、みなさんにバルーンアートを作成していただきました。

お話を始める前に、濱田さんが、参加者の前で、**風船を使って「ピンクのバラ」や「アンパンマン」**などを、作る工程を披露したことで、会場から「ワー」とか「スゴイ」とかの感嘆の声が上がり、早くバルーンアートを作りたいという思いが溢れてきて、目がキラキラしていました。

濱田さんが、バルーンアート活動をするようになった「きっかけ」は、10年以上前に、**子ども会(町会)の行事**で、関わることになったのが始まりだったそうです。初めは、技術者に教えてもらいましたが、その後は「**インターネット**」などで、**自分で調べながら学習**したそうです。それから、時々、イベントなどに呼んでいただく機会(ボランティア支援センターの行事にも)に恵まれたことで、今日まで活動が続いている。自分は、**ボランティアをしているというよりも、子どもたちの笑顔を見るのが楽しくて、ただそれだけで活動している**んだと、お話しして下さいました。

バルーンアートの**ゴム風船**は、天然素材(自然の原料)でできていて、外に置いておくと、**自然に土にかえる**と表示されているが、自分は実験したことがないので、分からないと笑っていました。

実際に、ゴム風船が渡されて作り始めると、濱田さんの声が聞こえなくなるほど賑やかになり、会場の外に居た方々も次々と来場し、入れ代わり立ち代わり大人の方が32人、施設職員が3人、子どもさんが16人程の参加者で、大盛況に終わりました。

参加者からは～前にも、一度作ったことがある。広報のお知らせを見て楽しみにしてきました。実技があつて良かった。子ども会のクリスマス会に行きたいと思ってきました。大人でも楽しい。是非、どこかで役立てたい。孫のお土産に持って帰りたい。なかよし会で、是非、講師としてお願いしたい。などなどとても嬉しい感想を頂きました。

「ほっと・ぼらんていあ」は皆さんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるようにと開催しています。**次回は**、3月8日(土)13時30分から市民参画センターで開催いたします。**個人でボランティア**に参加している**蔦谷昌一さん**をお招きして、**退職後に始めたボランティア体験**をお話ししていただく予定です。**ボランティアに興味のある方だけに限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。**